

編集後記

◆133号でデビューした新人です。一昨年、第10期市民意見広告運動のお手伝い以来、本会とのお付き合いが始まりました。団塊の世代ですから、とても新人とはいえませんが、会員・読者の皆様のご指導よろしくお願いいたします。差し迫る運動課題山積の現況から、今号は2つの特集を組みましたが、大阪や東京で威勢の良い名乗りをあげる改憲勢力からも目が離せません。

◆11月11日は、反原発100万人大占拠行動に参加してきました。家に帰り着いてほっこり。この「ほっこり」は、わが郷里若狭湾沿岸地域では「一仕事がんばって、やれやれ疲れた」の意で使われます。土地の言葉は豊かです。

◆突如フレームアップされた領土問題。国際問題の専門家、浅井さん、前田さんが口をそ

(對馬 芳)

ろえて事態の深刻さに警鐘を鳴らしています。危険な火遊びをする幼児のような政治家たち。◆政党の党首が「国防軍」や「核保有」を公言する今回の総選挙。留まる所を知らぬ政治の右傾化を許した原因の一つに、我々の側にも欠如していた何かがあるのではないかと胸に手を当てて考えています。

(野澤信二)

◆編集委員 阿部めぐみ、天野恵一、有馬保彦(次号担当)、杉内蘭子、高橋武智、對馬芳(本号担当)、西田和子、野澤信一(本号担当)、本野義雄、諸橋泰樹、吉川勇一、吉田和雄

会計報告

唐突に石原前都知事が辞任。東京都民の私としては、ながく待ちわびていた瞬間ではありましたが、国政に復帰なんて聞いたら「そりゃあまずいだろう! この国はますますひどくなる! 戦争になっちゃうかも?」と思っちゃいますよね。まずは都知事選、そして

て衆議院選、脱原発はもちろんですが「何かで困ってる人たち」が笑顔で暮らせることを願っている候補者を見つけ投票したいものです。

さて、今期会計も赤字となりましたが赤字額は少し減少してきました。退会者は相変わらずおられますが、ほとんどの方が『市民の意見』の内容に不満ということではなく「高齢になり体調が・・・」とか「年金暮らしで・・・」と言った理由で、やむをえないこととは思いますが、残念でもありさびしくもあります。

支出においては10月から意見広告が本格的に始動しましたので従来どおり家賃、光熱費などの事務所経費を折半することになり立替金項目が発生しました。しかし、立替金は基本会計からの支出とはなりませんので、損益欄には記載されません。

(上口)

市民の意見 30の会・東京 2012年9月～10月会計

1. 損益計算書(会基本会計)

収入の部	
一般会費	219,000
協力会費	75,000
敬老会費	210,000
障害者会費	9,000
(会費小計)	513,000
カンパ	241,640
市民の意見販売	4,500
グッズ等販売	4,010
雑収入(*1)	5,000
銀行利息(*2)	234
収入計	768,384
支出の部	
印刷費(*3)	237,571
発送費(*4)	153,360
通信費	60,022
会場費(*5)	13,000
消耗品費(*6)	100,033
編集経費	52,240
交通費	96,500
家賃	110,000
光熱費	12,107
手数料	1,025
諸会費(*7)	10,000
雑費	9,742
支出計	855,600
収支	(87,216)
前期繰越	6,356,505
当期残高	6,269,289
3. 当期残高(次期繰越金)	
会基本会計	6,269,289
条約基金	176,715
F/I基金	1,165,820
預り金	180,420
計	7,792,244

(単位:円)

注(*1) 靖国ツアー参加費@500×10名
(*2) ゆうちょ銀行受取利息。(*3) 『市民の意見』133号印刷費。(*4) 『市民の意見』134号発送費。(*5) スペースたんぽぽ(靖国ツアー会場)使用料。(*6) 角2封筒¥58,081、振替用紙¥23,100他。発送用ラベルシール代¥7,600他。(*7) 高江「ブロッコリーの森を守る会」様へカンパ¥10,000。※尚、意見広告への今期立替金は、事務所家賃(10～11月分)、光熱水費、電話料金11月分など、合計¥119,346でした。次期会計にて預り金と相殺いたします。